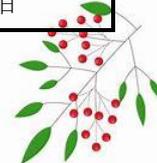


結ゆい

高岡市立高陵中学校
第1学年だより
第9号
令和7年1月8日



趣味の種



校長 柿埜 哲男

2学期の終わりに、3年生の音楽の授業で日本の伝統音楽の学習があった。生徒に生の音楽に触れてもらいたいと思い、私が趣味にしている尺八を披露した。お正月にテレビやショッピングセンターでBGMとして流れている音色しか知らないという人も多い楽器である。

私の中高生時代を振り返ってみると、色々なことに興味はあったが、これといった趣味があったわけではなく、自信をもって「趣味は〇〇です」と答えることができなかった。人前で発表することが苦手で、緊張することも多く、引っ込み思案なところがあったと思う。

しかし、尺八という趣味に出会ったことで、環境が一変した。大学時代に私はこの尺八と出会った。サークルの勧誘でたまたま邦楽部（日本の伝統音楽を楽しんだり、演奏したりする部）を体験したときに、偶然にも、すぐに音を出すことができたのである。通常、音を出すだけで1週間以上かかると言われる楽器であったが、単純な私は、「これは運命なんだ！」と思い込んでしまい、それ以来、尺八の魅力にはまってしまったのである。

尺八について少し解説すると、尺八は真竹（まだけ）という竹の根っこに近い部分を材料として作られている管楽器である。日本古来の楽器で、基本が一尺八寸の長さなので尺八と言われている。尺八は、息の入れ方で高音と低音が鳴り、高音はフルートのような音なのに、低音ではサクソさながらの枯れた音が出るのが魅力で、それがなんとたった5つの穴で表現されるのである。ものづくりが好きな私が、日本の伝統音楽の奥深さに一層刺激された部分である。

入門以来、一生懸命練習した成果を大きなステージで演奏したり、冠婚葬祭で多くの人の前で披露したりする経験を繰り返す中で、さらなる喜びや自信が生まれたのだと思う。飽きっぽい私が30年以上も続け、都山流尺八の師範になることができたのである。

趣味は、その人の生きるスタイルを形づくるのではないかと考える。ぜひ、若いうちに何事にも恐れずにチャレンジしてほしい。ちょっとした出会いが、自分の人生を大きく変えるチャンスになるかもしれない。まずは、何でもやってみて判断することが大切だと考える。「趣味の種」をいっぱい植え、じっくりと育てることが、将来、美しい花を咲かせることにつながるのではないかと考える。



3年生の音楽の授業

1月の予定

1	水	元日 閉庁日	
2	木	閉庁日	
3	金	閉庁日	
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	始業式・書初大会	
9	木	1・2年復習テスト 給食開始	
10	金	1・2年復習テスト	
11	土	高岡地区アンサンブルコンテスト	
12	日		
13	月	成人の日	
14	火		
15	水		
16	木	論コミ	

17	金	
18	土	
19	日	越中万葉かるた大会 (ウイングウイング)
20	月	小中合同アウトメディア週間 (~24日) 論コミテスト
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	



※2月6日(木)市英単語コンテスト